

第2回 協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録



2013年 2月

愛知学泉大学現代マネジメント学部伊藤研究室

目 次

- 1. はじめに . . . 1
- 2. 町民討議会議開催の経緯について . . . 1
- 3. 第2回 協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録 . . . 3

10月14日【第1日目】 の記録 [テーマ]地域公共交通を考える

- ステップ1 : 「旗揚げアンケート」 . . . 3
 - ・ 試乗体験の感想をお聞きします
- 【第1ラウンド】 . . . 5
 - ステップ2 : とよやまタウンバスに乗って一言！
- 【第2ラウンド】 . . . 7
 - ステップ3 : 豊山町の地域公共交通の課題を理解する [ミニ講座]
 - ステップ4 : 豊山町の「地域ニーズ」に相応しい地域公共交通のあり方を考えます

11月4日【第2日目】 の記録 [テーマ]豊山町の防災問題を考える

- 【第3ラウンド】 . . . 10
 - ステップ2 : 豊山町で体験した災害の記憶
 - ステップ3 : [クロスロードゲーム] . . . 12
 - ・ 豊山町で発生する災害を想定する
 - 【第4ラウンド】 . . . 14
 - ステップ4 : 豊山町の防災計画をクイズ形式で理解する
 - 【第5ラウンド】 . . . 14
 - ステップ5 : 豊山町の自主防災組織の役割について考える
 - ステップ6 : 想定外の災害が発生する前に減災対策としてそれぞれの立場で最低限やっておかなくてはならないことを検討します
- 4. 資料 : アンケート結果の概要 . . . 22

1. はじめに

・豊山町町民討議会は、①協働のまちづくりに対する意識向上の機会とする、②町政に対して従来サイレントマジョリティーであった多様な町民の意見を反映する、③総合計画の見直しに向けて幅広い町民の意見を今後4年間にわたり蓄積していく、ことを目的として、平成23年度に第1回目が実施され、今年度は2回目の実施になるものです。

・町民討議会は、全町民（18歳以上）から無作為抽出された2000名に町長名による招待状を送付し、参加を承諾した74名の町民から抽選により決定した60名の町民が有償で、2日間にわたり話し合う会議です。

・今年度は、第1日目が「地域公共交通を考える」、第2日目が「豊山町の防災問題を考える」という2つのテーマで実施されました。第1日目の町民討議会議の実際の参加者は、47名でしたが、2日目の参加者は台風により当初の開催日程を変更したあおりを受けて30名でした。

2. 町民討議会議開催の経緯について

・今年度の町民討議会議は、4月16日に豊山町との第1回の打ち合わせを行い、次の点を確認しました。

- 1)今年を含めて後4回、2015年まで5回を実施する。
- 2)2000人の無作為抽出の方法について検討する。(昨年抽出した2000人を除くか含めるか?)
- 3)今回から3回は特定テーマを深めるような町民討議会議とする。
- 4)今年のテーマとして行政からの提案として「防災とコミュニティ」を採り上げる。
- 5)公共交通の問題については、どのような切り口とするかさらに検討する。
- 6)連続開催の効果の検証方法について検討する。
- 7)今年度の実施は9月～10月実施を目指して準備を進める。

※その後の検討で無作為抽出については、プランニングスツェレ研究会の意見も参考にして、毎年対象者全体から2000人を無作為抽出することとした。

・プログラムについては、昨年の町民討議会議の結果に基づき地域公共交通を採り上げることを学泉大学側から提案しましたが、豊山町からは自主防災組織をテーマとしたいという提案がなされました。学泉大学サイドで、地域公共交通と自主防災組織の2つのテーマを1日ずつ採り上げるプログラム案と、2日間とも自主防災組織をテーマとする2つのプログラム案を作成し、両案の検討を進めました。

・豊山町との第2回打ち合わせ（6月12日）において、2つのテーマを採り上げることが確認されました。6月18日以降、2つのテーマを扱うプログラムの修正を重ねました。

・地域公共交通をテーマとして採り上げることを受けて、7月2日には豊山町の地域公共交通連携計画に関わっている名古屋大学の加藤先生に協力を要請し、情報提供の内容と討議テーマについて検討しました。

・7月9日には、今年度のプログラムの概要について決定しました。その後は細部の修正を重ね実施準備を進めました。

・第1日目の開催予定日であった9月30日は、あいにく台風の直撃が予想され、直前になって町長の判断により開催が延期となりました。2日目の予定日10月14日を先に実施し、第1日目に予定していたプログラムを11月4日に延期することになりました。幸い今回のプログラムはそれぞれのテーマが独立しており、順序を変更しても開催に支障はないという判断からです。ただし、当初の日程を前提に参加者を選考していたため、2日目の参加者が30名に減ってしまったことは残念なことでした。アクシデントとはいえ無作為抽出による参加者選定に際して考慮すべき課題として指摘しておきたいと思います。



3. 第2回 協働のまちづくりを実現する町民討議会議の記録

- ・プログラムに沿って記録を整理する。

10月14日(第1日目)

[テーマ]地域公共交通を考える

ステップ1：はじめに

30分 ・事前にとよやまタウンバスの試乗をお願いしました。試乗体験の感想を「旗揚げアンケート」でお聞きします。

●旗揚げアンケートの結果を以下に示す。(数字は人数を表す) 全3問の結果から読み取れることは以下の4点である。

- ・参加者の約11%が今回初めてとよやまタウンバスに乗ったと答えている。
- ・64%は、今までに何回かの乗車経験がある程度で、利用経験の浅い利用者が多いと言える。
- ・豊山町内を走る4つのバス路線の中では、とよやまタウンバスがよく利用されている。
- ・とよやまタウンバスの必要性についてはほとんどの参加者が認めているものの参加者の8割の人が何らかの改善策が必要だと感じている。

【設問1】あなたの「とよやまタウンバス」体験についてお聞きします

①今回初めてとよやまタウンバスに乗った	5
②今までに何回かはとよやまタウンバスに乗ったことがある	30
③とよやまタウンバスを月に一度は利用する	4
④とよやまタウンバスを毎週何度か利用する	3
⑤その他	5

【設問2】その他のバス路線についてもお聞きします[複数回答可]

①とよやまタウンバスをよく利用する	10
②空港直通バスをよく利用する	6
③名鉄バスをよく利用する	5
④名古屋市営バスをよく利用する	8
⑤その他	26

⑤その他の発言内容

- ・車を利用する。
- ・電車が便利なんです。モゾまで車で行って、それで停めて、小田井から名鉄電車に乗って行く。
- ・西春まで車で行って帰りに使うとか、年に1～2回のみ、名古屋方面から使う。
- ・月に1～2回と言われると、これは利用していない。年に何回かだったら②や③は上げられる。

- ・名古屋駅に行くには西春まで行って電車で。年に2～3回。
- ・名古屋駅に行くのに、如意車庫前のバス停で乗って、市バスで行く。
- ・出張が多いので、キャリーバッグを持って行くのが難しいことと、やはり出発の起点が新幹線になるので、それに1番早く着けることが優先。帰るときに何時に戻れるか分からない、行きはタウンバスで行っても帰りはタクシーになってしまうなど、その辺でそこまで利用していないということ。上小田井が1日800円で駐車場が止められるので車で。何時に帰ってもタクシーは必要ないので。やはり上小田井からタクシーで夜間ですと6,000円以上取られますので、800円で済めばその方が会社にも負担が少ない。

【設問3】とよやまタウンバスの必要性についてお聞きします

①現状のとよやまタウンバスは必要だと思う	6
②現状のとよやまタウンバスは必要だが改善の余地がある	37
③とよやまタウンバスとは違う方式の地域公共交通が必要である	3
④地域公共交通の必要性がよくわからない	1
⑤その他	0

④地域公共交通の必要性がよく分からない、の発言内容

- ・自分が全く必要としないので、まず私は自分の必要性がよく分からない。どれぐらいの方が必要とされているのかというのを把握していないので、④にしました。

③豊山タウンバスとは違う方式の地域公共交通が必要である、の発言内容

- ・地域公共交通を理解していないかもしれませんが地区、地区で、例えば豊山であれ北名古屋であれ、別途で動いている。それがどこかで合流したり、市営とか地下鉄とか名鉄とか、1時間に1本ですので難しいでしょうけど、やはり時間的につながっていきけるような路線が出来たら利用価値は高まるかと思います。
- ・先ほどの意見の中でモゾまで車で行って停めて、上小田井から名古屋駅まで行くとか、早朝、深夜という話が出たんですけど、昔、セントレアまで走ってた頃はよく旅行に行くときにそこから駐車場、あるいは民間に乗ってセントレアまで行ったことがあったんですが、今はそれもなくなって。要は豊山町は狭いと言っても、車である程度の駐車場まで行って屋根のあるところで置かせてもらって、バスに乗って名古屋駅直行とか、そういう方式。だから②かと思ったけど③を上げましたけど、車で最寄りのバス停まで行くという方式を考えたということです。見渡すとこの辺りにいっぱい敷地がありそうなので。

②改善の余地がある、の発言内容

- ・本数を1時間に1本を増やしてもらいたい。時間帯で。
- ・はじめて乗ったが、乗ってみえるお客さんとか運転手さんにいろいろ聞いたんですよ。停留所を増やして欲しいという意見もありました。

ルートの中で通るんだけど停まらないとか、時間帯によって乗り遅れると80分待たないといけないときもあると、小牧市民病院、北ルート、そういう意見を聞きました。

【第1ラウンド】

ステップ2：とよやまタウンバスに乗って一言！

- 20分 ・豊山町の地域公共交通の運営と運行の現状について説明します。
- 40分 ・とよやまタウンバスに実際に乗ってみて、『みんなに伝えたい良かった点』と『利用者として気になった問題点』を意見交換して下さい。グループで出た意見の中からそれぞれのテーマ毎に重要だと思う意見を3つ選んで回答シートに書き出して下さい。
- 30分 ・各グループの結果を全体場で発表してもらいます。共感できる項目をシール投票によって選びます。(それぞれの項目について1人5票)

- すべての提案内容を同一の内容と同種の内容に分類し、それぞれのシール投票数の多い順に項目を整理した。良い点と問題点の内容をまとめると以下の6点になる。
 - ・とよやまタウンバスの良い点として、高く評価されたのはルートに関する項目が91票で最多である。
 - ・次に運行時間が正確である点が40票で高く評価された点に注目したい。
 - ・3番目にバス停の配置に関するものが26票、バスの構造が高齢者対応になっている点への評価が23票、運転手の対応に関するものが16票であった。
 - ・問題点としては、利用料金に関する指摘が77票と最も多くを占めた。
 - ・2番目は、運行時間と運行本数に関するもので64票である。
 - ・次は、バス停の構造と配置に関する内容で51票である。

■みんなに伝えたい良かった点

[シール投票の結果：1人5票]

グループの提案項目	票数	同一	同種
1. 都心まで直接行きやすい	14	61	91
2. 到着時間が早い(栄まで)	14		
3. 豊山町区間をすぎると黒川、栄まで早い	12		
4. 南ルートで栄に行くのはよい	9		
5. 市バスより時間的にバスの方が早い	7		
6. 時間に正確、栄までの時間が短く計算できる	5		
7. 北ルートで小牧市民病院に行くのはよい	7	12	
8. 小牧市民病院に行くのが便利	5		
9. 県庁に止まるので、学校に行きやすい	10	10	
10. 名古屋空港直行バスは、短時間で名古屋駅に行ける	8	8	
11. 時刻が正確	12	40	40
12. 時間が正確	12		

13. バスの運行時間が正確である	10		
14. 料金が安くてダイヤ通りに来る	6		
15. バス停留所が町内で多い	7	16	26
16. バス停が比較的近くにある	5		
17. 町内のバス停が多い	4		
18. 脚の無い人が使うのには便利です	10	10	
19. 老人にとって踏台があつてよい	12	23	23
20. バスのステップが出て乗りやすい	11		
21. 運転手の親切な対応	10	16	16
22. 運転手が元気	6		
23. 必ず座れることが良かった	3	3	3
24. コミュニケーションが取れる、思いやりが生まれる	2	2	2
25. 運行継続の為前向きに動かれている	2	2	2

■利用者として気になった問題点

[シール投票の結果：1人5票]

グループの提案項目	票数	同一	同種
1. 南ルート of 料金体系	10	30	77
2. 町外へのバス料金が高い	9		
3. 利用料金が高い	6		
4. バスの料金の値下げを検討してもらいたい	5		
5. 定期券の発行	18	18	
6. 料金がわかりにくい、明確な料金表示がほしい、65才以上はすべて100円にしてほしい	11	17	
7. 敬老割引	6		
8. 障害者割引を無料にしてください、北ルートの運行時刻を覚えやすい時間にしてください	8	8	
9. 利用者を増やすために誕生日月だけ1回限り、1世帯1人だけ無料にして欲しい、地域の活性化	4	4	
10. 始発、終バスの時間延長	16	30	64
11. 南ルートで日、祝日の運行時間午前7時30分から最終19時30分にしてほしい	9		
12. 停留所の増設、始発、最終時間帯の追加をしてもらいたい	5		
13. 時間帯によって本数を増やして欲しい	10	27	
14. 運行の時間帯の少なさ	9		
15. バスの本数が少ない	8		
16. 土、日の時間規制	7	7	
17. バス停に駐輪場があると良い	13	32	51
18. 停留所の整備	11		
19. バス停が地味、屋根も欲しい	8		

20. 地域によってバス停がないところがある	7	19	
21. 南北ともルートが問題北ルートは停留所から遠い地域が多い	7		
22. 停留所の場所の設定はどうなっているのか？	5		
23. 南ルートのバスが小さい	8	14	14
24. 座席が少ない（バスの大型化）	6		
25. 栄ルート、平日行きだけ名古屋駅とよやまタウンバスに入れて欲しい	13	13	13
26. 料金表が見つらく支払いに困る	13	13	13
27. 広告提供者の募集	9	9	9

昼食・席替え（60分）

※席替えをしてから新しいグループで昼食を取って下さい。

【第2ラウンド】

ステップ3：豊山町の地域公共交通の課題を理解する〔ミニ講座〕

5分 ・昨年度の町民討議会議の結果について説明します。

40分 ・地域公共交通の考え方と豊山町におけるあり方について、名古屋大学の加藤先生にお話ししてもらいます。

ステップ4：豊山町の「地域ニーズ」に相応しい地域公共交通のあり方を考えます

15分 ・地域公共交通にかかるコストとサービスの水準について4つのあり方を提案します。

Aタイプ:名古屋市の地域公共交通のサービス以上のレベル

(1人あたりのコスト、利用料金、サービスレベル)

Bタイプ:名古屋市の地域公共交通のサービスレベル

(1人あたりのコスト、利用料金、サービスレベル)

Cタイプ:現状の豊山町の地域公共交通のサービスレベル

(1人あたりのコスト、利用料金、サービスレベル)

Dタイプ:とよやまタウンバスがない地域公共交通のサービスレベル

(1人あたりのコスト、利用料金、サービスレベル)

50分 ・グループで話しあって豊山町の「地域ニーズ」に相応しいサービスのタイプを選択し、その理由を明確にして下さい。

・さらに、現状の豊山町の地域公共交通に対する改善提案を3つ考えて下さい。

●個人で選択したサービスタイプの合計と各グループで選択したタイプの結果を表に整理した。

・すべての選択は、BとCに集中した。

・グループの選択では、Bタイプの選択がCタイプの選択に対して2倍の6グループになった。

- ・しかし、各グループの個人選択の合計数を見ると、BタイプとCタイプの選択数は、同数となっている。その原因としては、一つのグループにおいて個人の選択結果の多数決ではなく、討議の結果少数意見がグループ意見としてまとめられた事が考えられる。
- ・サービス向上とコスト抑制に対する優先順位は微妙なバランスにあると考えられるが、今回の参加者の選択は、現状の地域公共交通のサービス向上に対するニーズが上回った。

■タイプ選択の結果

	個人の選択	グループの選択
Aタイプ	0	0
Bタイプ	23.5	6
Cタイプ	23.5	3
Dタイプ	0	0

■Bタイプを選択した理由

- ・サービスも向上してほしい。
- ・増便は必須
- ・増便すれば利用者もふえる。
- ・増便すれば新たな利用客の集客も見込める。
- ・通院や買い物に便利になるように 30分に1本ぐらい必要。
- ・南コースの本数を増やすため
- ・住民の負担が増えたとしても便利なほうが良い。(ほんとに必要かどうかによる)
- ・便利になると負担金が高くなるのはどうりである。
- ・良いものであればお金がかかっても良い。
- ・通勤手当、広告の活動で負担を減
- ・運賃が上限 200 円ならば、利用客も増える。
- ・ルートの改善
- ・車の運転が無理になった時にタウンバスは必要不可欠。
- ・タウンバス廃止は困る。
- ・誰もが高齢になるのでみんな支えあう町にする。
- ・車を利用しない人の利便性を向上させるため
- ・地域の魅力を高めるため

■Cタイプを選択した理由

- ・負担を増やしたくない。
- ・負担を増やさず、運行の見直しをする。
- ・一人あたりの負担額を増やさない。
- ・町の税金を抑える為
- ・1人あたりの負担額が妥当な金額だから
- ・利用料金の均一化「青山、豊場、同額に」
- ・利用頻度が少ない
- ・集客力をアップする方法を考える。

ステップ5：発表と投票

- 30分 ・各グループの検討結果を全体場で発表してもらいます。
- 15分 ・グループの提案発表を聞いて、加藤先生から専門家として補足すべき情報提供をしてもらいます。
- 10分 ・専門家の意見を聞いて、個人でどのグループの提案に共感したか、花丸カードを投票して下さい。現状の地域公共交通に対する改善提案については別にシール投票して下さい。

(ハート型ポストイット投票1人1票、シール投票1人3票)

●改善提案に対する投票は、花丸カードの投票をプログラム実施時に取りやめシール投票のみとしたため、シール投票の合計数のみを提案項目の同一と同種の場合それぞれについて合計した結果を下記の票にまとめた。

- ・バスの運行時間や運行本数に対する改善提案が34票を集めて最も多くの支持を得た。
- ・次にルート改善に関する項目が32票が多い。
- ・料金に関する何らかの改善は、27票で3番目である。
- ・利用者の増加につながるPR等の工夫が21票の支持を得た点は注目すべき結果である。
- ・他に停留所の改善と広告などで収入を増やす改善提案などが票を集めた。

■改善提案に対する投票結果

[シール投票の結果：1人3票]

グループの提案項目	票数	同一	同種
1. サービス向上、雨の日の増便、直通便	7	16	34
2. 本数増加等サービス向上	6		
3. 朝夕の運行数を増便し、タウンバスの利便性をPRする	3		
4. バスの利用状況により運行を見直してもらいたい	7	13	
5. 早い改善サイクル、1回/3年...現状に合う様に	6		
6. 運行時間の見直しによる、経費削減する	5	5	
7. 北コースの終点を市役所から小牧駅に変更	12	32	32
8. 北、又は南ルートのどちらかエアポートウォークにも止めてほしい	6		

9. 現状ルートの見直し北、南ルートを、北部市場で接続「乗換」	5		
10. 南コースに西部医療センター追加	5		
11. 北ルートのサービス向上	4		
12. 通学割引・敬老割引	8	15	27
13. 定期券の発行、昼間料金	7		
14. 町内外で料金の差をつける	10	10	
15. わかりやすい料金体系	2	2	
16. タウンバスの良さをPRする	3	5	21
17. 町民一人の負担額を増さずタウンバスのPR→Bタイプのレベル化	2		
18. 町外の利用を図る	2	2	
19. 行政の支援者と利用者もある程度増やして、行う	7	7	
20. 町内のお知らせ告知などで地域交流を図る	7	7	
21. 停留場のインフラ整備	11	13	13
22. バス停の近くに駐輪場を設置してもらいたい	2		
23. デコレーションや車内広告等で、収入を確保	5	11	11
24. 広告を募る	3		
25. 通勤手当・広告収入の導入	2		
26. 民間の広告費を利用する	1		
27. 時刻表の簡略化	0	0	0

11月4日(第2日目)

[テーマ]豊山町の防災問題を考える

ステップ1：はじめに

【第3ラウンド】

ステップ2：豊山町で体験した災害の記憶

5分 ・あなたが豊山町で体験した災害の記憶を自己紹介シートに書き出して下さい。

30分 ・まずは、豊山町全体の地図上でご自分のお住まいを捜して、赤いシールを貼ってください。

・次に順番にそれぞれの災害体験を紹介して、豊山町で想定される災害のイメージを共有して下さい。

●自己紹介カードの内容を下記に記録として掲載する。

- ・全体の半分ほどの人が東海豪雨の記憶を災害体験としてあげている。
- ・豊山町では台風も含めて水害による災害被害が最も高い関心となっていることをうかがうことができる。
- ・他に27%の人が大きな災害被害の記憶がないと答えたことにも注目しておきたい。

【東海豪雨に関するもの】

- 東海豪雨
- 東海豪雨の時の災害
- 東海豪雨の時は床下浸水。
- 伊勢湾台風。東海豪雨
- 伊勢湾台風。東海豪雨
- 東海豪雨で北部市場周辺が冠水したり、新地蔵川が決壊したこと。
- 東海豪雨、床上浸水になりました。堂前川を夜、雨の時に見守ります。
- 東海豪雨。道路、庭が増水で、もう少しで浸水する体験。役場にTELして大山川の増水状況を聞いたら、橋から手をかざすと水に付く状態と返答がありました。
- 東海豪雨の時、久田良木川の水位が急に増え、あふれそうでした。新車を購入したばかりで、車が心配でした。住居は3階の為、余り不安は感じませんでした。
- 東海豪雨の時、娘が名古屋市に通学しており、携帯電話が一時つながらなくなり、不安に感じました。
- 最大のものは東海豪雨。私の居住区域は豊山住宅の東側で、最も水害の回数の多い地域でした。最近はずいぶん改善されてきましたが、それでも常に不安はあります。
- 記憶に新しいのは「東海豪雨」です。当時、用水のそばに住んでいましたので、浸水被害が心配でした（私はマンションの5階に住んでいました）。実際、友人の何人か浸水被害で、家屋や車が被害にあっています。
- 東海豪雨で、会社からの帰宅において、名鉄バスが現在の名古屋北区のスバル前でストップしてしまった。そこでバスをおりて、41号から北に向かい、胸まで水につかり自宅にたどり付いたスバル前で午後8時、自宅に着いたのは午前0時30分前であり、すごく寒かった記憶がある。
- 高校生の時、自転車で通学していたのですが、東海大豪雨の影響で、北区の喜惣治が水で2mほど浸水しており通れなかったです。他のルートをとると思い、もっと西の方にも走らせましたが浸水していて、自転車が通れませんでした。その日と翌日は、41号も空港線と交わる交差点以南も浸水していました。
- 昭和50年頃の豪雨（台風17号）の時、車が水没しかけた。東海豪雨の時、母が旅行から帰って来れなくなりました。東海豪雨の時、犬山線が不通になり、江南駅まで子どもを迎えに行った。同じく、翌日東京まで車で行く予定でしたが、豊田インターまで不通で5時間かかった。
- 1. 東海豪雨（知人の家が床下浸水の為、様子を見に行った）。2. 台湾航空墜落事故（夜空を照らす赤い非常灯とサイレンの音が忘れられない）。

【台風、水害、その他】

- 北部市場が出来る前に、あの辺は大雨で浸水していました（遊水池？）。あの水は今の様に処理されているのでしょうか？又、以前は良く、家の前の道が川の様になっていました。空港からの水の様でしたが？
- 10年前、豊山町県営の前に、川の水が道路にあふれた時があった。豊山役場の消防タ

ンク車が幼稚園に来た事があります。

- 子どもの頃、伊勢湾台風にあいました。すごくこわい思いをしました。おばあちゃんが台風を追い払うのに、カマを竹に結んでホイーホイーと言っていた覚えです。2階の壁が落ち、朝、光が射しこんだ。
- 小学生の時に体験した伊勢湾台風です。それ迄にない雨漏り、床下浸水に驚きました。父はそれ以来、台風対策に力を入れる様になりました。
- 伊勢湾台風。少額6年生でしたのであまり記憶はないですが、父、母が一生懸命、家を守っていたのを思い出します。風と雨が強く、怖かった思いをしました。今はラジオ、乾電池、家の周りの片付け、家の補強をします。
- 阪神淡路大震災。東日本大震災

【経験していない】

- ないです。
- まだないです。
- 住民2年目、特になし。
- 災害はありませんでした。
- 大きな災害は体験はありません。
- 昭和52年3月～、9階に住んでいるので被害無し。
- 実被害は無し。昨年の夏に1度、大雨による避難指示が発令され、大きなサイレンが鳴り続き、怖い思いをした。結果的に、自宅はその範囲ではなかったが。5年の豊山町在住の間、被害なし。人生でも無し。
- 昭和40年に豊山町に来ましたが、近所で火事が発生し、消火活動に参加した以外、水にも風にも不安を感じた事はありません。(片岡暁美)

ステップ3：豊山町で発生する災害を想定する [クロスロードゲーム]

- 20分 ・豊山町で作成したハザードマップを基に豊山町で想定される災害とその被害について具体的に説明します。
- 50分 ・クロスロードゲームを体験しながら災害対策を考えます。

●5問のクロスロードゲームの結果を以下に示す。

- ・クロスロードゲームの感想を見ると、非常時に備えて普段から話し合うことの重要性を訴える人が多いことがわかる。
- ・結果を見る限り小さな自治体における住民の意識が比較的協調的であることを感じ取ることができるのではないだろうか。

1. あなたは・・・人口14,000人の町の住民

町の地震対策費3億円。町長候補A氏は、「阪神大震災で約9割の人が近隣の人に救出された。地域づくりに使う」と主張。「建物が倒れないことが大事。個人住宅の耐震化に使う」という意見もある。A氏に投票する？

Yes (投票する) or No (投票しない)

15

15

2. あなたは・・・川沿い集落の住民

母（65歳）、妻、小学生の子ども2人の4人家族。激しい雨が降り続けている。今、洪水の危険があるとして集落に避難勧告が出たことを防災無線で知った。しかし、現在深夜12時。今すぐ、避難を始める？

Yes（すぐに避難する） or No（しばらく様子を見る）
20 10

3. あなたは・・・共働きの30歳代夫婦

防災には近所づきあいが大事だと言われるが、地域自治会に入ると、集会やら一斉清掃やらお祭りやら、月に2回は行事に出なくてははいけない。仕事を抱えてそんな暇はないと思う。それでも自治会に入る？

Yes（入る） or No（入らない）
20 10

4. あなたは古くからこのまちに住む住民

震度7の大地震が起き、大きな被害が出ている。幸い、我が家には3日分の保存食と水の準備があるが、準備していない家もあるようだ。町内会では保存食を分け合うことが呼びかけられている。保存食の一部を提供する？

Yes（提供する） or No（提供しない）
24 4

5. あなたは避難所を運営する役員

集中豪雨で大山川が決壊し、町内に床上浸水の被害が出た。避難した町民で避難所のスペースは残りわずかのところに近隣市の住民が避難してきた。彼らを受け入れると、残りの町民を受け入れられないかもしれない。責任者として近隣市の住民を受け入れる？

Yes（受け入れる） or No（受け入れを断る）
23 5

【クロスロードゲームの感想】

- ・優先順位をつけて、判断する事の難しさ、現実で更に命にかかわる場合、場面、であればもっと判断に迷う場面が出てくるのだろうと思った、講座でさえこんな話がまとまらないのであれば災害時の異様な場面が予想される
- ・現在は冷静だから常識的に判断できるが実際に危機的な状況の時に冷静に判断できるか難しい
- ・皆様の考え色々でまとめることは難しいと思いました。
- ・設定問題が難しい。
- ・死ぬほどの事が無ければ、その後の事を考えて無難な答えになった。
- ・書いてある文章に迷いましたが、こういう結果が出ました。

- ・防災について普段あまり考えていないのでこの機会を意識しなければと思った
- ・考える材料をいただいて、考える価値があると思う。
- ・普段なかなか考える機会がないことを考えられてよかった。
- ・立場や状況によって、対応は違うと思いました。他の意見を聞いて、逆の意見に納得する事も多々ありました。
- ・町内の人達の助け合いが大事です
- ・どの様な災害であっても近所の助け合いは絶対必要である。

昼休み・席替え（60分）

※席替えをしてから新しいグループで昼食を取って下さい。

【第4ラウンド】

ステップ4：豊山町の防災計画をクイズ形式で理解する

休憩（10分）

【第5ラウンド】

ステップ5：豊山町の自主防災組織の役割について考える

20分 ・豊山町の自主防災組織の現状について説明します。

ステップ6：想定外の災害が発生する前に減災対策としてそれぞれの立場で最低限やっておかななくてはならないことを検討します。

50分 ・それぞれの立場でできる短期・長期の減災対策を考えてみましょう。

	短期 (明日からでもできる)	長期 (10年先には実現したい)
個人でできること [自助]		
コミュニティにできること [共助]		
行政にしかできないこと [公助]		

●各グループで書き出されたすべてのポストイットを各項目毎に整理して以下に示す。

- ・自助における短期の対策としては、①防災用品の用意、②防災用品いろいろ、③非常持ち出し袋の用意と点検、④3日分の非常食と飲料水の備蓄、⑤家具の転倒防止、⑥緊急避難場所の確認、⑦その他、に関する提案が数多く出された。とりわけ非常持ち出し袋に対する関心の高さは特徴的なことではないか。
- ・自助における長期の対策としては、①住宅の耐震対策、②電気や水を備蓄できる住宅改造、とまとめたように住宅に対する対策が提案された。
- ・共助における短期の対策としては、①あいさつと声かけ、②近隣とのコミュニケーション

ョン、③災害弱者の把握、④防災訓練、避難所対策、防災倉庫、⑤自治会の役割、など近隣におけるソフトな対策を中心に提案がなされている。

- ・ 共助における長期の対策としては、①自主防災組織の活性化、②ハード面の防災対策、③ソフト面の防災対策、④近隣との関係づくり、とまとめたように組織的対応とハード整備の提案がなされている。
- ・ 公助における短期の対策としては、①有線放送の改善、②豊山チャンネルの活用、③防災情報の共有、④備蓄用品の拡充、⑤ソフト面の防災対策、⑥ハード面の防災対策、など情報の提供と共有化に関する提案が多く見られた。
- ・ 公助における長期の対策としては、①河川の整備、②住宅地の環境整備、③ハード面の防災対策、④ソフト面の防災対策、⑤その他、とまとめたように河川整備や宅地の高低差の表示など水害に対する対策の提案を中心に避難所や備蓄倉庫の整備など具体的な提案がなされている。

● 自助

[短期]

① 防災用品の用意

- ・ 防災グッズの準備
- ・ 防災グッズを用意する
- ・ 防災用品の用意
- ・ 防災用品の充実した備え
- ・ 防災用具の点検、準備
- ・ 日頃の備えの充実
- ・ 非常時の準備
- ・ 非常時の備えの用意
- ・ 非常のときの備品備蓄

② 防災用品いろいろ

- ・ 風呂の水を貯めている
- ・ トイレの為の風呂水を貯める
- ・ ガス元栓を閉めるなど火の元の確認
- ・ 窓ガラス、食器棚などガラスにフィルムを貼る
- ・ ラジオ、乾電池、用意
- ・ 携帯、電池、ラジオ、毛布等
- ・ 救急箱の準備、薬、バンドエイド
- ・ 家の回りの植木、物干し、の移動、雨戸をしめる

③ 非常持ち出し袋の用意と点検

- ・ 非常持ち出し袋を用意しておく
- ・ 非常持ち出し袋を用意する
- ・ 非常持ち出し袋の用意
- ・ 持ち出し袋の用意、点検
- ・ 非常持ち出し袋の点検

- ・非常持ち出し袋の作成、避難場所の確認
- ・防災袋の点検と防災袋の設置場所を考える
- ・家族で1つの防災カバンを用意する

④3日分の非常食と飲料水の備蓄

- ・3日分の保存食の準備
- ・3日以上保存食、水の確保
- ・保存食を用意する、水、食料
- ・防災に備え保存食の準備
- ・非常食を備える
- ・非常食の準備
- ・非常食の用意
- ・非常食の備蓄
- ・非常食の確保
- ・食料、飲水の準備
- ・食、飲料水の確保
- ・飲料水、非常食の用意
- ・3日分の食料を用意、水

⑤家具の転倒防止

- ・転倒防止グッズを備える
- ・家具の固定
- ・家具の固定
- ・家具の固定
- ・家具が倒れないように固定する
- ・家具が倒れないように固定
- ・家具の倒壊予防
- ・タンスの倒れ防止機具の取り付け
- ・テレビとテレビ台の間に耐震用マットを敷く
- ・耐震工事は出来なくても2階にベッド、タンス等重い物を置かない様にする

⑥緊急避難場所の確認

- ・避難場所の確認
- ・避難場所の確認
- ・避難所の再確認
- ・緊急時の連絡方法の再確認
- ・家族の避難時の場所確認
- ・家族で避難場所を決めておく
- ・避難場所の確認、下見避難場所経路を歩いてみる
- ・家庭内で万が一の時避難方法、避難先、連絡方法を常日頃から話し合っておく事

⑦その他

- ・家族の安否確認
- ・家族で災害に対する勉強会

- ・近隣住民の把握
- ・近隣住民の連絡強化

[長期]

①住宅の耐震対策

- ・耐震の家を建てる
- ・家屋の耐震化を進める
- ・耐震に対する住居整備
- ・家の耐震補強
- ・自宅の更なる耐震対策
- ・家（内・外）の補強
- ・家の補強、リフォーム
- ・台風、地震に対応できる様に建物、塀の補強
- ・建物の危険度の点検、修理
- ・家の土地が液状化か起きるかどうかの検査

②電気や水を備蓄できる住宅改造

- ・電気や水道を備蓄できる設備を工事、設置する
- ・太陽光パネルと蓄電池で、電力確保

共助

[短期]

①あいさつと声かけ

- ・あいさつをする
- ・声かけ運動
- ・一声運動
- ・日頃より隣近所と声かけ交流をする
- ・近所のあいさつをまたふれ合いを実行したらよいと思う

②近隣とのコミュニケーション

- ・近所の人と日頃からコミュニケーションをとること
- ・地域に聴覚障害者もいるので近所付き合いを大切にして情報をキチンと伝え合う
- ・近隣所とさらに連帯感を深める
- ・各地の自治会活動が不活発になって来ている様に感じるが昔から向三軒両隣という如く近所の関係が大切だと思うがいかが？
- ・住居周辺の小地区での意見、情報交換会ができるように役場からの案内

③災害弱者の把握

- ・病気の方やお年寄りの方に声かけをする
- ・独居老人宅の対して家具の固定が体力的に出来ない方にはシルバー人材センターを活用する方法を検討したらどうか
- ・高齢者のみ家庭の把握
- ・災害時の弱者の救出をどの様にするか

- ・ 3日分の食料は各自と言っても持って行けない人は、最小限にして持ち出しても良い

④防災訓練、避難所対策、防災倉庫

- ・ 避難訓練
- ・ 防災訓練を定期的に行う
- ・ 非常持出品の確認し合う
- ・ 消火器の薬剤の点検
- ・ 避難経路明示
- ・ 避難所でのストレスケアをする
- ・ 全地区に地区防災倉庫
- ・ 防災倉庫の充実

⑤自治会の役割

- ・ 自治会の絆作りを考える
- ・ 近所、自治会の協力
- ・ 排水路の掃除
- ・ 町内会の議題にあげる

[長期]

①自主防災組織の活性化

- ・ 自主防災組織の義務化
- ・ 全地区に自主防災会を！
- ・ 自主防災態勢の組織の活性化
- ・ 自主防災会の充実（そこで自主防災会ごとで避難方法や伝達方法の確立）
- ・ 自分の住む自治会等でも、自主防災組織を作ってもらよう働きかける

②ハード面の防災対策

- ・ 地区の避難所の整備
- ・ 防災倉庫をふやすこと
- ・ 部落内の道路の拡幅

③ソフト面の防災対策

- ・ 住宅の耐震を地域で確認する
- ・ 自治会による現状の災害対策状況の聞き取りと、住居周囲の災害時の不安な部分調査
- ・ コミュニティの避難マップ作り
- ・ 自治会でこのテーマを検討する（自治総会等で）

④近隣との関係づくり

- ・ 自宅の周辺（4方向）13棟の把握
- ・ 自治会活動で地道に交流を深める

●公助

[短期]

①有線放送の改善

- ・有線放送の明確化、音ばかり大きくて内容の理解が困難
- ・豊山の有線放送の改善
- ・防災無線が聞きづらい

②豊山チャンネルの活用

- ・継続的な豊山チャンネルの発信
- ・豊山チャンネルで防災の組織の放送、災害状況を知らせて欲しい
- ・もっと豊山チャンネルを活用して下さい、お知らせ放送では声が割れて聞き取りにくい

③防災情報の共有

- ・防災についての情報を的確に開示する
- ・大雨、洪水警報の出しすぎオオカミ少年だ！
- ・防災に関する住民への周知徹底

④備蓄用品の拡充

- ・備蓄用品の拡充
- ・炊き出しの為の移動キッチン、部落の人数分の保存食、水
- ・食料品の備蓄
- ・災害時の食料、毛布等の充実、多くの人に割り当てられる様に

⑤ソフト面の防災対策

- ・避難場所の拡充収容人員の確認
- ・消火栓の取り付け口の蓋を開くか確認する
- ・消防の水栓の利用方法を教えてほしい
- ・障害者の避難誘導
- ・各所に海拔の表示をしてほしい
- ・コミュニティによる避難経路の確認、コミュニティ同志でどう非難するのかの連絡方法
- ・町民体育大会のように大きな規模の訓練を計画

⑥ハード面の防災対策

- ・防災基地確保
- ・避難所、防災倉庫の連絡 河川の草木と河底のドロ、砂利をとる
- ・排水路設備の整備、点検

[長期]

①河川の整備

- ・堤防の設備工事
- ・庄内川の洗堰のカサ上げ
- ・河川の整備
- ・各川の整備

②住宅地の環境整備

- ・堤防建設浸水想定 2.0m以上の地区をなくす
- ・区画整理（救急車も入ってこれない所がまだまだある）

- ・道路を広く
- ・木造家屋の密集地帯に住んでいますので考えてみたい
- ・大規模火災の延焼防止の為の緑地帯、公園等の増設
- ・電気、ガス、水道のインフラ強化
- ・地盤沈下液状化対策

③ハード面の防災対策

- ・避難場所の増設
- ・避難用備蓄用品拡充
- ・防災倉庫の充実、全町民に提供できるようなものにしてほしい
- ・防災倉庫、避難場所の設置個所の増、非常食糧の人口増を見込んだ備蓄計画、緊急車両の充実
- ・救急車両の充実
- ・大山川のガードレールを飛行場の所まで取り付けしてほしい
- ・水害対策の為にボート排水ポンプ自家発電設備
- ・豊山町に消防署の派出所を作るべきだ

④ソフト面の防災対策

- ・豊山町内の土地の高低差数字で教えてほしい
- ・地域防災会のない所は作るように行政が援助アドバイスをし全自治会に出来るようにする
- ・豊山町と同じ位の規模の町村と防災時に助け合える様姉妹関係を結ぶ

⑤その他

- ・避難場所が「さざんか」なのですが大山川のそばなので心配
- ・元、池であった土地にしいの木、東部供用の公共建物があり避難場所に指定されている不安を感じるが？

10分 ・とくにコミュニティができる減災対策として上がっている項目をグループで話しあって優先順位が高いと思う項目を3つ選択して下さい。

ステップ7：グループでまとめた項目の発表と投票

30分 ・それぞれのグループでまとめた3つの項目を発表します。個人の考えで全体の項目の中から納得できる項目をシール投票で評価します。(1人5票)

●各グループが選択した共助にあたるコミュニティができる減災対策の項目の投票結果を下記の表に示す。

- ・同一項目で最も得票したのは、近隣での声かけや関係づくりで24票であったが、同種の項目では、防災倉庫や消火栓、空き家対策、避難経路など身近な防災関連の施設整備に関する項目が73票で最多となっている。
- ・声かけやマップづくり、情報の共有などのソフト対策の合計は、61票で2番目に多い提案項目となっている。
- ・自主防災組織の整備は、16票で3番目の対策項目となっている。

■コミュニティでできる減災対策に対する投票結果

[シール投票の結果：1人5票]

グループの提案項目	票数	同一	同種
1. 全地区に地区防災倉庫を作り、充実させる	14	22	73
2. 炊き出しの為の移動キッチン、部落の人数部分の保存食、水などを 用意する	8		
3. 消火栓や消化器の確認	11	19	
4. 消火栓の使用方法的指導を小地区で実施。ホースも	8		
5. 長期空家の対策（火災防犯）	14	14	
6. 独居老人宅の家具固定をシルバー人材センターを活用できるように	10	10	
7. 避難（防災）訓練の定期開催（年複数回）、PR（避難経路知っていますか？）	8	8	
8. 隣近所と一声、連帯感を普段から心掛ける	11	24	61
9. 日頃より隣り近所と声をかけできるよう、自治会に入りやすくし、 活動で地道に交流を深める	8		
10. 声かけ運動を実施する	5		
11. 独居老人とか障害者の把握？（近所付き合いが大事）	9	17	
12. 高齢者のみ家庭の把握	8		
13. 地域の緊急連絡体制の周知	10	10	
14. 自治会組織を小ブロックにして防災意識の情報を集める	6	6	
15. コミュニティに依る防災マップ作り	4	4	
16. 自主防災会の充実	6	16	16
17. 自主防災会未設置地区を無くしてほしい	6		
18. 自主防災組織の義務化	4		

ステップ8：まとめとアンケート

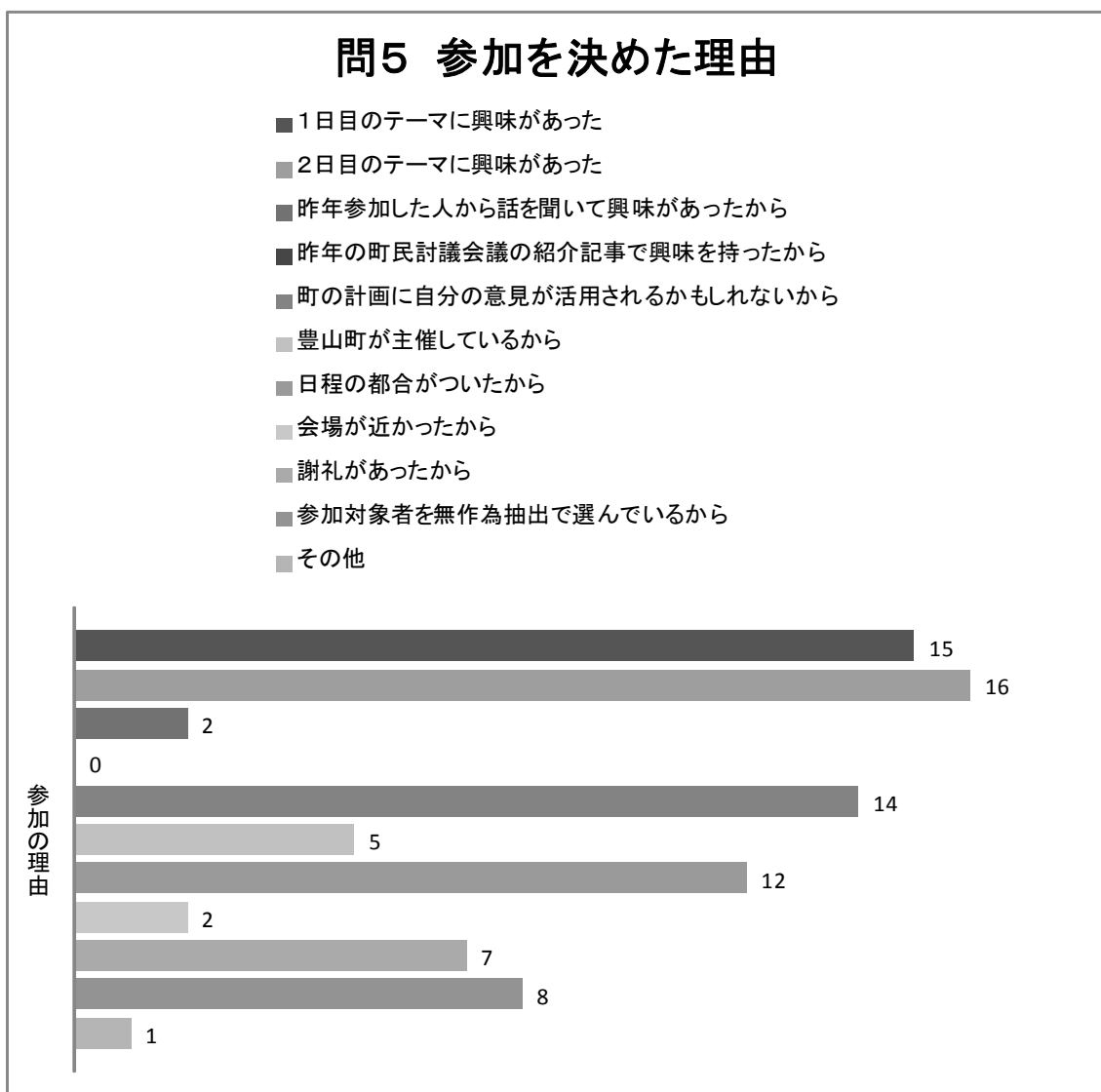
・今回の町民討議会では、1日目の予定日が台風で中止になったので2日目に予定していた町民討議会を第1日目とし、第1日目の予定日を急遽変更した。

・そのために参加を承諾した出席者の内、予定が合わず第2日目を欠席する参加者が何人かあり、第2日目の参加は30名となった。

4. 資料：アンケート結果の概要

・2日目終了時点で参加者を対象に町民討議会議に関するアンケートを実施しました。ここでは、そのいくつかについて結果を報告します。

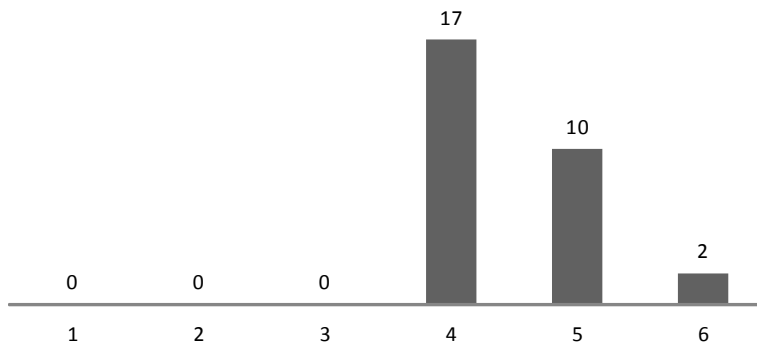
・2日目の参加者は30名となりアンケートに答えていただいたのは29名でした。昨年と同様のアンケートを実施していますが、結果の比較検討については今後連続実施する中で詳細な検討を加えていきたいと考えています。



●町民討議会への参加理由に関するアンケートからは、討議テーマに対する関心が最も高く、次に町の計画に対して自分の意見が活用されるかも知れないという理由が多い。以下、日程の都合がついたから、参加者を無作為抽出で選んでいるから、謝礼があったから、豊山町が主催しているからが続いている。

●話し合いのテーマや意見の反映可能性は当然として、無作為抽出に対する感心が高いことは、興味深い結果である。

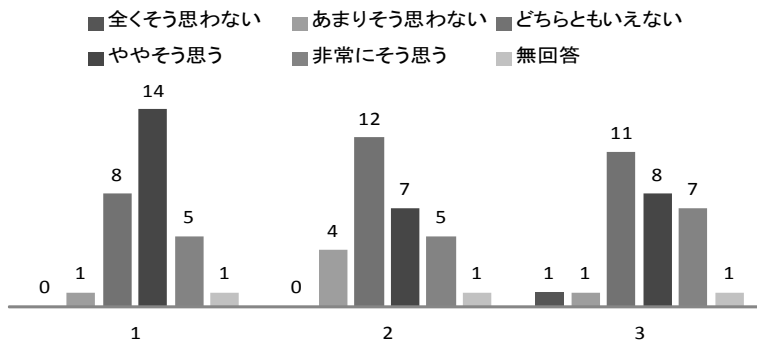
問7 町政やまちづくりに関する知識が増えたと思うか



1. 全くそう思わない 3. どちらともいえない 5. 非常にそう思う
2. あまりそう思わない 4. ややそう思う 6. 無回答

●町民討議会議に参加してみ、町政やまちづくりに関する知識が増えたかという質問に対しては、多くの人が非常にそう思う。ややそう思うと答えている。町民討議会議は、啓蒙的な役割については、大変に高い効果を持っていると言える。

問8 情報提供は適切だったか



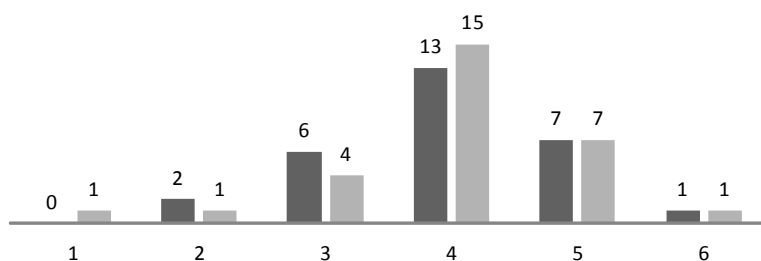
1. 情報提供の時間 2. 情報提供の難易度 3. 情報提供の説明の仕方

●一方で、町民討議会議の中で行われた情報提供の効果に対する評価を見てよう。

●時間と難易度と説明の仕方の3つの要素の中では難易度で最も評価が低くなっているが、全体としてはどちらとも言えないが最も多いものの適切という評価の方が多いと見える。

問13 町民討議会議に対する意見

- 防災・公共交通について十分な量の情報公開をした
- 防災・公共交通について誰もが理解できるよう情報提供した



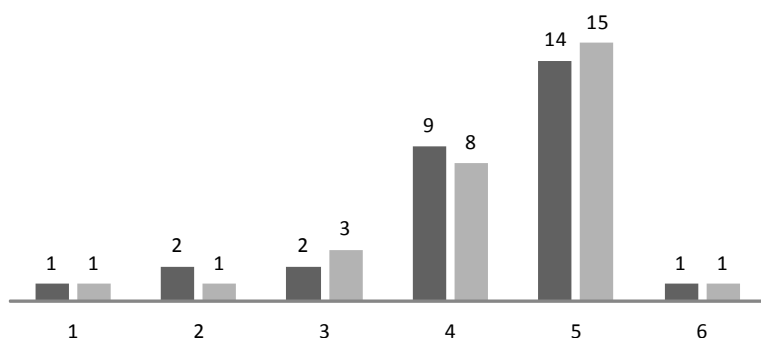
1. 全くそう思わない 3. どちらともいえない 5. 非常にそう思う
2. あまりそう思わない 4. ややそう思う 6. 無回答

●町民討議会議全体に対する評価を見てみよう。類似の質問2問に対する5段階評価をそれぞれ集計したグラフを以下に示す。尚、6番は無回答である。棒グラフの上に表示した数字は回答者の人数である。

●情報公開に対する評価は概ね高いと言える。

問13 町民討議会議に対する意見

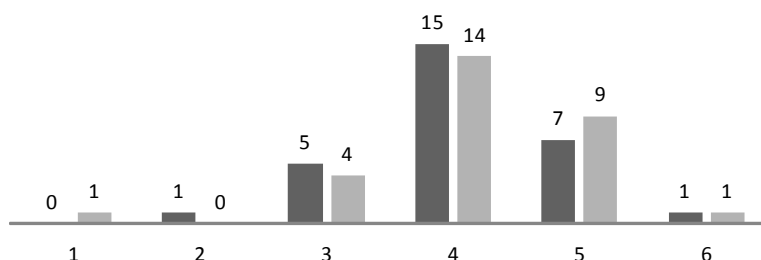
- 町民は誰でも発言できる機会があった
- 町民は誰でも議論に参加できた



●町民討議会議の場合での参加者の発言機会については、多くの方がプラス評価をしている。積極的な参加の場が実現していたと言える。

問13 町民討議会議に対する意見

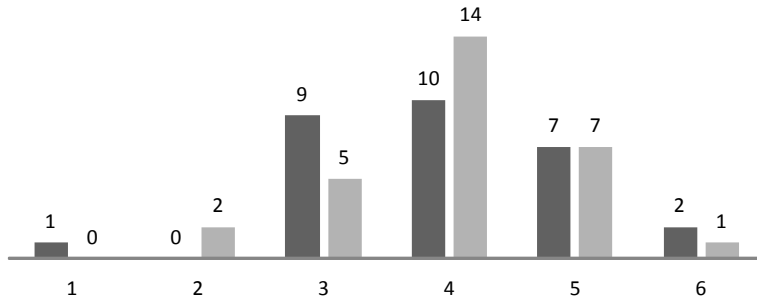
- 町は総合計画実現のための事業に町民討議会議の意見を反映させる
- 町が総合計画を見直すときには町民討議会議の意見を反映させる



●町民討議会議の意見を町がどのように受け止めるかについても概ね高い期待感を持つことができたことが示されている。

問13 町民討議会議に対する意見

- 参加者は無作為に選ばれるので、町民全体の意見を代表していた
- 町民討議会議では多数だけでなく、少数の意見も反映された

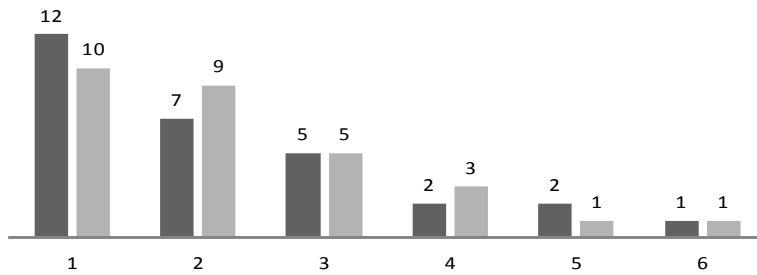


1. 全くそう思わない 3. どちらともいえない 5. 非常にそう思う
2. あまりそう思わない 4. ややそう思う 6. 無回答

●この2つの質問はやや内容が異なるが、無作為抽出による選出方法によって町民全体の意見を代表しているかどうかはわからないと感じている人も相当数存在している。一方少数意見はかなりの程度反映されたと感じている人は多い。

問13 町民討議会議に対する意見

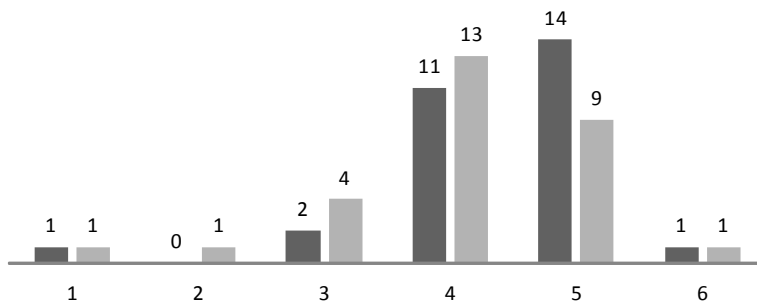
- 議論に時間がかかり無駄だ
- 多くの予算がかかり無駄だ



●町民討議会議はかなり大がかりな準備を伴う参加の手法である。にもかかわらず、時間と予算に対して無駄ではないと感じた参加者が多くを占めたことは、町民討議会議の場が形式的な議論の場ではなく実現していることを証明している。

問13 町民討議会議に対する意見

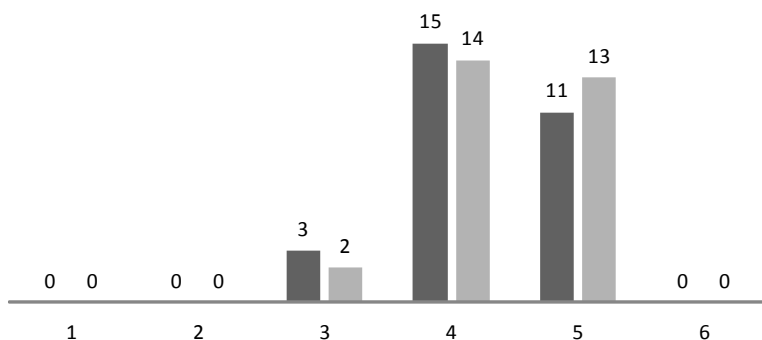
- 町民討議会議の開催は全体としてよいものだ
- 町民討議会議はよい提案ができた



●この2つの質問の内容も多少異なるものではあるが、町民討議会議の開催そのものについての評価はかなり高いと言ってよい。ただしそこで得られる成果については、まだ改善の余地があることを示していると考えられる。

問14 参加してどのように思ったか

■ 自分の視野を広げることができた ■ 多くの新しい知識と情報を得られた



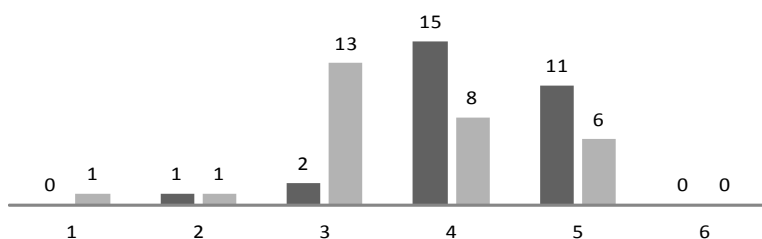
1. 全くそう思わない 3. どちらともいえない 5. 非常にそう思う
2. あまりそう思わない 4. ややそう思う 6. 無回答

●問14は、参加者自身が感じたメリットに基づく町民討議会議の評価である。

●自身の視野や知識を得られたという参加者が大半である。

問14 参加してどのように思ったか

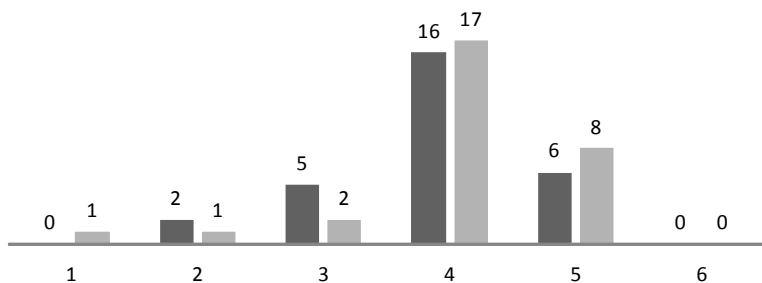
■ 自分とは異なる関心や見解を持つ人と知り合うことができた
■ 他の参加者と信頼関係を築くことができた



●他の参加者との関係で言えば、知り合うことはできたが、当然ことながら、信頼関係を築くまでできたと感じた人は半分程度である。しかし、これは単純に少ないとは言えない数字ではないだろうか。

問14 参加してどのように思ったか

■ 地域の問題について町民の協力が活発になる
■ 総合計画についての町民の関心を高めることができる

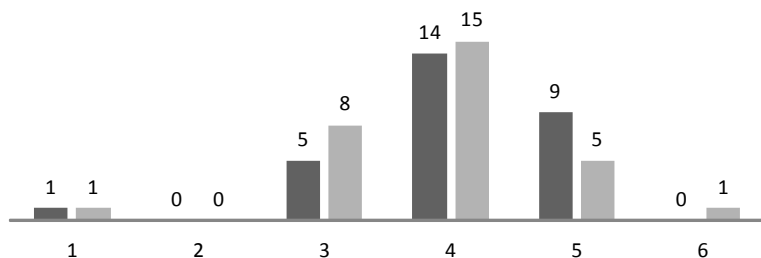


●町民討議会議を実施する主要な目的の一つである総合計画に対する関心を広げるということについては高い評価が得られていると言える。

●具体的な課題解決に向けた町民の協力が得られる」という評価はそれをやや下回った。

問14 参加してどのように思ったか

- 総合計画についての町の取り組みも進む
- 町の政策に対して町民の影響が大きくなる

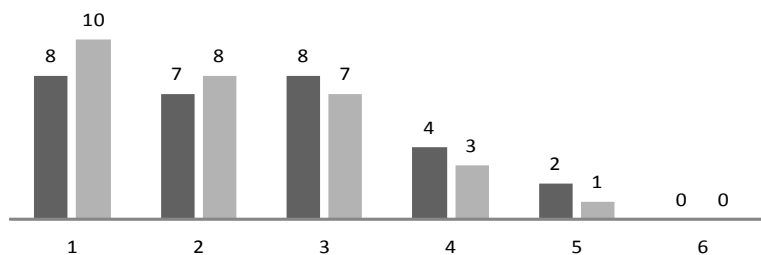


- 1.全くそう思わない 3.どちらともいえない 5.非常にそう思う
 2.あまりそう思わない 4.ややそう思う 6.無回答

●前問の町民自身に対する影響よりも町に対する影響に期待するの方がやや下回っている傾向は興味深い。

問14 参加してどのように思ったか

- 参加するのは時間の負担が大きい
- 参加するのは、他の参加者に気がつかうのがわずらわしい



●町民討議会議に参加した人に対するアンケートなので当然とも言えるが、こうした場への参加に対する抵抗感はそれほど大きいものではないようである。豊山町という自治体の規模の問題がどのように影響しているか不明だが、中学校区レベルの範囲で実施する場合には参考になる数字である。